

度と来年度に防災無線の更新を計画しています。防災上必要であると考えますので進めていきたいと思えます。今後赤字団体になると起債にも制限がかかりますので、相当削減することを考えなければなりません。

■みんなが犠牲になっての黒字では意味がない。もつと町の進歩につながる前進的な提案をして欲しい。企業誘致なども考えるべきでは

企業誘致などについては、現在有利な施策がないのが現状です。まずは財政を黒字に転換させることが必要と考えますが、今後何もしないという訳ではありません。新たなことも考えながら一刻も早く黒字に転じるよう努力します。

■金持温泉源の調査は中止になったと聞くが、当初予算はもつと精査して使うべきではないか

温泉調査は、初めは夢のあるまちづくり、観光や福祉にも役立てて皆さんにも喜ばれると思いき算計上しましたが、財政推計上厳しい状況となり、今回は見送ることとしました。

■保育所の統合など、黒坂から何も無くなり、子どもはいなくなる、親もいなくなる、若い人は町外へ出てしまう。黒坂の振興についてどう思っているのか

保育所については、今のサービスを低下させないためにも統合を考えていきます。黒坂地区の振興は他の面で活性化を図ること、特に地域コミュニティ活動を推進する施策を考えていきたいと思えます。

■リバーサイドひのの宿泊部門に町から赤字補填されると聞くが実際はどうなのか。赤字なのに維持するメリットはあるのか

宿泊部門へ平成16年度には1150万円の補助を行っています。町内にもつと宿泊施設がほしいということで国の補助なども受けて建てた物であり、現状を見据えてあり方を見直していきます。

■日野病院については、3町での負担のうち日野町が約9割負担しているが、その割合の見直しを考えてはどうか。また、町の状況も考えて、診療科目を減らす方向で考えたかどうか

療科目を減らす方向で考えたかどうか

日野病院は以前から総合病院という位置づけであり、診療科目もそれなりに必要であると考えますし、病院側も改革をしながら頑張っておられるのでご了解いただきたいと思えます。負担率については以前から論議しておりますが、なかなか改善の方向に進まないのが実情です。また、このたび江府町にできる老人保健施設「あやめ」の負担は、江府町が9割、日野町が1割で話を進めています。

■日野町は介護保険料が高く、老人医療費などは経費負担が高いと聞くが、病氣予防にもつと力を入れるべきではないか

日野町の介護保険料は県下で一番高く、利用が多いため今後今の単価を上げざるを得ません。国保の医療費も県下で2番目に高い状況です。医療費抑制のためにも検診を受けていただきたいと思えます。

■財政状況も町民の知らないうちに報道された。この責任をどう考えているのか。

この住民説明会より前に新聞などで報道されたことについてですが、まず9月議会の中で自立政策検討特別委員会に説明した際に報道にも会議内容を公開しました。今回の報道はその会議でのやり取りを記事にされたものです。できる限り情報公開をしながら仕事を進めていきたいと考えていますのでやむを得ない面もあります。今後情報公開をしながら、速やかな説明の機会を設けていきます。

■いままで経費を削減した経過も伝わってきていないのできちんと情報公開して欲しい

情報の流れ方が良くなかったと反省しています。赤字財政になることも平成14年に「広報ひの」に掲載されていますが、皆さんの注目を浴びていません。今後は財政状況など、広報、ホームページを通して情報提供を積極的にしていきます。

■自立政策推進会議に5人の委員が出ているが、今後どのようなことをしていくのか

自立政策推進会議については、先ごろ開催し意見を伺いました。この説明会の日程終了後改めて開催する予定です。この他にも住民の意見をいろんな形で聞き、施策に反映していきます。

■このような座談会は今後もあるのか。必要に応じて開きたいと考えています。

紙面の都合上、いただいたご意見の全てを掲載することはできませんでしたが、説明会では町政に対して大変厳しいご意見を多くいただきました。これからのまちのあり方、財政再建などについて参考にいたします。

また、今回の説明会だけでなく、いろいろな場面で皆さんからのご意見をお待ちしています。

# 町職員給与、報酬などの状況を公表します。

日野町職員の給与等を公表します。給与等は、国・県に準じてまちの条例等で定められています。

公表した数字は平成17年4月1日現在および平成17年度当初予算時の金額等です。

まちは自立存続に向け、昨年度より町職員給与の引き下げ、手当での見直し等を行っています。

問合せ先 役場総務企画課（電話 72 0331）

## 人件費の状況（普通会計決算）

歳出総額	人件費	人件費比率
3,612,358 千円	697,711 千円	19.3%

特別職に支給される給与・報酬等を含む。

## 職員給与費（平成17年度当初予算）

職員数	給与費				1人当たり給与費
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	
77人	300,993 千円	24,809 千円	120,835 千円	446,637 千円	5,800 千円

町長、助役、教育長を含まない。職員手当には退職手当組合負担金を含まない。

## 特別職の給与等（平成17年4月1日現在）

職名	給料・報酬月額	期末手当
町長	693,000 円	6月期 1.6月分 12月期 1.7月分 計 3.3月分
助役	555,000 円	
教育長	510,000 円	
議長	298,000 円	
副議長	222,000 円	
委員長	213,000 円	
議員	208,000 円	

## 職員の平均給料月額・平均年齢（平成17年4月1日現在）

一般行政職		技能労務職	
平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
325,503 円	42.5 歳	320,951 円	44.9 歳

## 職員初任給（平成17年4月1日現在）

区分	日野町	国
一般行政職	大学卒	160,200 円
	高校卒	138,800 円
技能労務職	136,000 円 ～ 151,500 円	136,000 円 ～ 151,500 円

## 職員の年齢構成（平成17年4月1日現在）

区分	25歳未満	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～60歳	計
職員数	4人	5人	12人	3人	13人	14人	15人	11人	77人
構成比	5.2%	6.5%	15.6%	3.9%	16.9%	18.2%	19.4%	14.3%	100%

## 職員の手当（平成17年4月1日現在）

期末・勤勉とも国と同じ

職制上の段階、職務の級による加算措置あり

期末手当

6月期 = 1.4月分 12月期 = 1.6月分 計3月分

勤勉手当

6月期 = 0.7月分 12月期 = 0.7月分 計1.4月分

## その他の手当 1か月当たり（平成17年4月1日現在）

- ・扶養手当 配偶者 = 13,500 円、その他扶養親族 = 5,000 円～ 11,000 円（16歳～22歳 = 1人につき5,000円加算）
- ・住居手当 最高27,000円 新築等（5年間） = 2,500円
- ・通勤手当 交通機関など利用 = 最高55,000円、自家用車など（片道2\*以上） = 2,000円～ 20,900円